

会議等議事要旨

会議等の名称	研究部倫理委員会	開催年月日	平成25年 2月 13日
開催場所 および時間	会議室 15時15分～15時45分	記録者	三宅 さやか
会議の出席者	橋口副院長、三ツ井臨床研究部長、有井神経内科医長、宮崎小児科医長、水口薬剤科長、高田外科系診療部長、篠原事務部長、島文理大学教授、小倉支援学校校長、児玉看護部長、松瀬看護師、谷本看護師、安藝看護師、北谷看護師、牧研究員		

議 事

1.地震災害対策に対する看護師の意識調査 机上シミュレーションの効果の検討

谷本看護師より研究概要について説明があり、全員一致で承認された。

本研究は、1月に申請した演題の指摘があった箇所を修正したもの。

2.ベテラン・プリセプターの両者間でのプリセプター役割意識の違いを明らかにする

安藝看護師より研究概要について説明があり、アンケート用紙を再提出する条件付きで承認された。

本研究は、看護師169名を対象に「プリセプター役割自己評価尺度」とアンケートを使用し、3～5年の看護師とベテラン看護師の両者間で意識の違いがあるか検討したい。

「プリセプター役割自己評価尺度」の使用許可は取得している。

島文理大学教授：倫理的には問題ありませんが、アンケート用紙をもう少し直したらよくなると思う

安藝看護師：はい。

三ツ井臨床研究部長：では、アンケート用紙を修正し、再提出するという条件付きで承認とします。

3.徳島病院筋ジストロフィー病棟における看護師のやりがいと看護量との関連

谷北看護師より研究概要について説明があり、次回に繰り越しとなった。

本研究は、病棟の業務量が多く、患者と接する時間が少ないためやりがいをあまり感じない。そこで、病棟の業務量を調査し、やりがい感と業務量との間に相関関係があるのか否かを検討したい。

三ツ井臨床研究部長：「5-（5）医療行為および医学研究の対象となる個人に理解をえる方法」の記入がされていない。

谷北看護師：すみません。「目的を納得がいくまで説明します。」と一文入れます。

島文理大学教授：個人の利益、不利益の書き方が分かりにくい。また、看護師に記入してもらうなら患者への同意は必要ないと思う。それと、課題名ですが、「やりがい」ではなく「やりがい感」では？

谷北看護師：はい。指摘された箇所を修正します。

三ツ井臨床研究部長：「患者と話をする時間がどれくらいあるのか？」「各業務は何分かかっているのか？」という項目も増やしてどうか？

谷北看護師：はい。追加させていただきます。

三ツ井臨床研究部長：では、以上のことを踏まえ次回繰り越しとします。

4.平成25年度厚生労働科学研究費補助金研究課題「希少性神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新たな医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボット（HALーHN01）に関する医師主導治験-短期効果としての歩行改善効果に対する無作為化比較対照クロスオーバー治験（NCY-3001試験）」

高田外科系診療部長より研究概要について説明があり、説明文書を徳島病院用に修正し再提出するという条件付きで承認された。

本研究は、新潟病院で科研に通っている医師主導治験で、研究分担者に入ったため申請。

対象は、18歳以上の筋ジストロフィー、脊髄性筋委縮症、封入体筋炎など7つの疾患患者。発生した事故や障害に対しては当院が対応し、その費用は科研の補償賠償保険で対応します。

三ツ井臨床研究部長：患者への説明文ですが、新潟病院のを使用していますが、徳島病院用のはありますか？

高田外科系診療部長：名前を変更し、作成します。

三ツ井臨床研究部長：では、説明文を徳島病院用に修正し、再提出するという条件付きで承認とします。